



## 平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月9日

上場会社名 株式会社インタースペース 上場取引所 東  
 コード番号 2122 URL http://www.interspace.ne.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 伸一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理管掌 (氏名) 岩淵 桂太 TEL 03(5339)8680  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績（平成27年10月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	16,918	18.5	656	238.8	638	214.2	371	—
27年9月期第3四半期	14,277	16.5	193	△70.0	203	△68.5	12	△96.4

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 347百万円 (798.5%) 27年9月期第3四半期 38百万円 (△88.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	54.83	—
27年9月期第3四半期	1.87	1.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第3四半期	6,988	3,315	47.4	488.74
27年9月期	6,343	3,021	47.6	445.51

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 3,315百万円 27年9月期 3,021百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年9月期	—	0.00	—		
28年9月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,400	11.6	800	129.5	789	127.6	436	44.0	64.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年9月期3Q	6,967,200株	27年9月期	6,967,200株
28年9月期3Q	184,170株	27年9月期	184,069株
28年9月期3Q	6,783,090株	27年9月期3Q	6,773,718株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向にあるものの、個人消費の伸び悩み、新興国の景気減速の懸念を背景とする為替相場及び株式市場の動きは不安定さを増しており、依然として先行き不透明な状況となっております。

当社グループが属するインターネット広告市場は、2016年3月末時点の国内携帯電話出荷台数全体のうち、約80%をスマートフォンが占めており、国内におけるスマートフォン移行は落ち着きを見せる一方で、スマートフォン広告市場は急速に拡大しており、動画配信や新たな広告配信サービスなどインターネット広告サービスは多様化しております。

こうした事業環境のもと、当社グループは「既存事業の成長」「新規サービスの開発」「収益の改善」に注力し、事業拡大に取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、16,918百万円(前年同期比18.5%増加)、営業利益は656百万円(前年同期比238.8%増加)、経常利益は638百万円(前年同期比214.2%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は371百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益12百万円)となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### <インターネット広告事業>

当事業は、インターネットを活用した成果報酬型広告であるアフィリエイトサービスを主軸に国内および東南アジアでサービス展開しております。主力のアフィリエイトサービス「アクセストレード」において、Eコマースカテゴリの「健康食品・サプリ」、サービスカテゴリの「人材派遣・美容」が引き続き好調に推移したほか、金融カテゴリにおいても「FX・カードローン」ジャンルのプログラムが好調に推移し、前年同期比約11%増加となりました。店舗向けアフィリエイトサービス「ストアフロントアフィリエイト」においては、引き続き未稼働店舗の稼働促進や地方エリアの販売強化などに積極的に取り組んだ結果、前年同期比約24%の増加となりました。

また、海外事業においては、各国ともに広告プログラム数の獲得と提携メディアの開拓に注力しております。

これらの結果、当事業の売上高は16,383百万円(前年同期比19.2%増加)、セグメント利益は608百万円(前年同期比110.3%増加)となりました。

#### <メディア運営事業>

当事業は、日本最大級のママ向けコミュニティサイト「ママスタジアム」を主軸に、キュレーションメディアやスマートフォン向けアプリの企画開発、提供を行っております。主力の「ママスタジアム」においては、「ママスタジアム・ママスタセレクト」の利用ユーザー数の増加に向けてサイト内コンテンツの充実や記事掲載の増加に注力いたしました。また、昨年度より提供しているペットキュレーションメディア「mofmo」、恋愛キュレーションメディア「KOIMEMO」において、記事・コンテンツの拡充に努めた結果、着実に利用ユーザー数が増加しております。メディア運営事業は今後も収益貢献度の最大化に向け、「ママスタジアム」の拡大と低コストのメディア・アプリのリリースに注力してまいります。

これらの結果、当事業の売上高は534百万円(前年同期比0.5%減少)、セグメント利益は47百万円(前年同期は95百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ645百万円増加し、6,988百万円となりました。これは主に、現金及び預金が849百万円増加した一方、未収還付法人税等が156百万円、投資その他の資産が80百万円減少したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ351百万円増加し、3,673百万円となりました。これは主に、未払法人税等が272百万円、流動負債のその他が143百万円増加したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ293百万円増加し、3,315百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が317百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が21百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年7月27日の「平成28年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,335,777	3,184,822
受取手形及び売掛金	2,611,203	2,656,068
未収還付法人税等	156,604	—
その他	124,705	133,323
貸倒引当金	△525	△525
流動資産合計	5,227,765	5,973,689
固定資産		
有形固定資産	174,950	171,802
無形固定資産	327,306	309,697
投資その他の資産		
投資その他の資産	662,725	564,851
貸倒引当金	△49,038	△31,241
投資その他の資産合計	613,687	533,610
固定資産合計	1,115,944	1,015,109
資産合計	6,343,709	6,988,798
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,908,600	2,882,090
未払法人税等	6,506	279,012
賞与引当金	110,044	60,689
その他	238,398	381,437
流動負債合計	3,263,549	3,603,228
固定負債		
その他	58,190	70,447
固定負債合計	58,190	70,447
負債合計	3,321,739	3,673,676
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	984,653	984,653
資本剰余金	725,000	725,000
利益剰余金	1,373,590	1,691,229
自己株式	△100,037	△100,126
株主資本合計	2,983,206	3,300,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,103	△495
為替換算調整勘定	17,659	14,861
その他の包括利益累計額合計	38,763	14,365
純資産合計	3,021,970	3,315,122
負債純資産合計	6,343,709	6,988,798

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	14,277,370	16,918,234
売上原価	11,859,827	13,828,070
売上総利益	2,417,542	3,090,164
販売費及び一般管理費	2,223,886	2,433,966
営業利益	193,656	656,197
営業外収益		
受取手数料	2,250	10,674
為替差益	5,027	—
助成金収入	764	—
その他	2,732	4,914
営業外収益合計	10,774	15,589
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	5,901
持分法による投資損失	—	8,148
支払手数料	354	—
為替差損	—	15,184
その他	821	3,835
営業外費用合計	1,175	33,070
経常利益	203,255	638,716
特別利益		
投資有価証券売却益	1,209	—
特別利益合計	1,209	—
特別損失		
減損損失	17,904	—
特別損失合計	17,904	—
税金等調整前四半期純利益	186,560	638,716
法人税、住民税及び事業税	139,318	271,145
法人税等調整額	34,557	△4,333
法人税等合計	173,875	266,812
四半期純利益	12,684	371,903
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,684	371,903

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	12,684	371,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,702	△21,599
為替換算調整勘定	5,290	△1,923
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△874
その他の包括利益合計	25,993	△24,398
四半期包括利益	38,678	347,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,678	347,505
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。